

花きの県別生産出荷概況(5月見通し)

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地
				期間	ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
						(前年比)	(前年比)				
輪菊	茨城県	施設露地	精興光明、神馬	周年 (5月～7月)	-	400	300	40	30	30	神栖市
	静岡県	施設	精の曲、黄金浜、神馬	周年	-	1,500 (100%)	900 (100%)	30	30	40	JAとびあ浜松
	愛知県	周年	神馬、精興の誠、精興光源、精興光玉、精興光明	4-3月 () (%)	-	23,000 (99%)	13,000 (99%)	30	35	35	愛知みなみ、ひまわり、西三河、あいち中央、あいち知多
	香川県	周年	神馬、精興の誠	周年 () ()	-	10,000 (98%)	(%)				小豆地区、豊南地区
	福岡県	周年	白系(雪姫・神馬) 81%~83% 黄系(秋・夏日和) 10% 赤(美吉野) 9%~7%	周年	11(5月95%)	4280(5月95%)	900(5月95%)	30%	30%	40%	八女電照菊
	熊本県	露地施設	精興光玉、精興の秋、神馬、美吉野など	周年 12月	25.9 99%	244 85%	176 85%	26%	32%	42%	鹿本、球磨
	大分県	周年	神馬、晃花の富士、精興光玉、浜の光 他	周年 () (100%)	24 (100%)	110 (100%)	130 (100%)	40	30	30	佐伯、杵築
	宮崎県	施設	神馬、優花、岩の白扇、精の一	周年	28.6 (84%)	626 (118%)	- -	30	30	40	国富、都城、こばやし、えびの市、尾鈴
	沖縄県	露地・施設	精興の秋、精興琉黄、精興光源、精興の誠	11月～5月 (12月・3月)	1.5 95%	400 95%	180 95%	70	30	0	伊江村、今帰仁村、本部町、中城村

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地
				期間	ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
小菊	沖縄県	露地・施設	秋芳 金秀 みさき つばさ 琉のあやか 琉の彩姫	11月～5月 (12月・3月)	7 98%	28,803 98%	1,000 98%	60	25	15	糸満市 うるま市 八重瀬町 沖縄市 名護市
バラ	青森県	施設		4～12月 (5・8月)	1.22 100%	60 100%	59 100%	20	40	40	三戸町 新郷村 田舎館村 つがる市
	群馬県	施設	アヴァランチェ サムライ 他	周年 (5～11月)	13.3 (88%)	970 (88%)	870 (88%)	35%	30%	35%	前橋市 昭和村 富岡市
	茨城県	施設	ローテローゼ, ティネケ, パレ オ, オーシャン ソング 他	周年	11 (98%)	550	450	40	40	20	つくば市, 他
	山梨県	周年	ローテローゼ、サ ムライ等	周年	2.5 66%	120 60%	100 53%	35	35	30	笛吹市 (御坂町)
	静岡県	施設	ローテローゼ サムライ アヴァランチェ	周年 3-5月		1,900 100%	1,700 100%	40	30	30	JA掛川市 JA大井川 JAしみず JA静岡市
	愛知県	周年	サムライ レッドスター アヴァランチェ ティネケ シンディ フレアー	4-3月 ()	-- (%)	3,700 100%	2,100 100%	30	35	35	愛知みなみ ひまわり 豊橋 西三河
	大分県	周年	Mシリーズ Jシリーズ その他各品種	周年 ()	8 (100%)	470 (90%)	160 (90%)	40	30	30	玖珠九重 山香 九重町飯田

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地
				期間	ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
トルコギキョウ	福島県	施設	白八重 ピンク八重 バス紫 他	5～11月 (8～9月)	90 (98%)	30 (98%)	25 (98%)	25	25	50	あいづ
	茨城県	施設	レイナホワイト、クラリスピンク、ポヤージュ、他	周年 (6月～7月)	10 (100%)	200	115	15	35	50	鉾田市、他
	千葉県	施設	ポヤージュ系品種、ピッコローサスノー、ソワレピンク他	4～8月 10～12月 (7月、11月)	7.2 100%	70 100%	50 100%	20	20	60	館山市 鴨川市 南房総市
		施設	サカタ・ミヨシの品種	10月～8月 (7～8月)	2.0 100%	100 100%	100 100%	30	40	30	旭市
	長野県		クラリスピンク ボレロホワイト レイナホワイト	5/中～12/上 (7/中～8/上)		50 95%	20 95%	2	2	6	ちくま 信州うえだ 中野市
	静岡県	施設	ボレロホワイト レイナホワイト こころ 海ほのか	10～6月 4～5月		450 95%	300 95%	30	35	35	JA大井川 JAハイナン JA静岡市 JA遠州中央
	福岡県	春出し	八重系品種 85% 一重系品種 18%	3月-7月 (4月-6月)		1500(全体)	600(全体)	30%	46%	24%	たがわ 直鞍 みい 南筑後 むなかた
	熊本県	施設	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	周年 11・5月	22.3 104%	762 97%	480 97%	32%	32%	36%	熊本市 菊池 八代 球磨 など
	大分県	周年	レイナホワイト 海ほのか 他品種	周年 ()	6 (100%)	350 (100%)	170 (100%)	30	30	40	玖珠九重 佐伯 豊後高田 他県内産地
	宮崎県		ボレロホワイト ダイヤモンドピーチ	12月～7月 (平野部) 8月～12月 (山間部)	2.9 (104%)	50 (51%)	2.5 (48%)	25	30	45	宮崎中央 串間市大東

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
輪菊	茨城県	JALおさい波崎菊部会 ・品質は概ね良好の見込み。 ・一部の産地でセンチウの被害がある圃場あり。	現状 白菊に関しては、月を通して入荷数量がやや多かった事と、業務需要がやや少なめであった事もあり、引き合いはやや弱めであった。その他色菊に関しては、全般入荷も需要に対して少なめであった為、安定した引き合いとなった。
	静岡県	現状少なめの出荷となっているが、出荷数量は昨年並みに推移する見込み。	
	愛知県	・生育状況は特に問題もなく上位階級の発生率が高くなっている。 ・出荷量は4月21日頃がピークとなり、4月末から5月頭にかけて一旦少なくなるが、5月中旬以降に再び増加してくる見込み。月間の出荷量は、昨年並みから若干少ない程度となる見込み。 ・夏菊は、5月の下旬から少量の出荷が始まると思われるが、本格的な出荷は6月に入ってからとなる。	見通し 大田花き 白菊に関しては年末分の返しにより、入荷数量がやや多めとなる。上位等級は業務、小売需要、下位等級は母の日参りなど加工・量販需要などの中心の引き合いとなる見込み。 色菊に関しては、沖縄産が中旬より減少。その他産地は出始めで入荷は安定せず、入荷数量に応じた引き合いとなる見込み。
	香川県	秋ぎくから促成ぎくへの切り替わり時期。数量は前年より少なめの計画。燃油高騰の影響から秋菊切り上がりは早く、促成も6月以降、開始見込み。	
	福岡県	現在出荷量は1200ケース～1800ケース 5月は夏菊の切替時期であり、白系の雪姫が5月21日、黄系の夏日和が5月5日出荷開始される。 出荷割合では、赤系が昨年度と比べ高い作付となっている。5月の出荷動向は、上中旬は現状出荷量をやや下回るが、5月下旬から6月上旬にかけては白系の冬夏菊品種の出荷が重なるため出荷量が一時的に増える。ただし白系は前年の作付が下回るため大きな山はない見込み。 (冬菊共選出荷：神馬6月2日、雪姫6月13日まで)	東日本板橋花き 4月同様、特に大きな需要なく動き鈍い
	熊本県	3月の彼岸が終わり、現在出荷は少ない。秋ギクの2度切りが出荷されており、5月から夏系の出荷が始まる。	世田谷花き 天候にもよるが、入荷は昨年並みぐらいだろう。業務・量販中心の動き。
	大分県	年末の切り替えしにより、ダラダラとした出荷が続いている。産地で出荷調整しているものの月末まで同様の出荷傾向。	第一花き 業務需要主体の流れ、入荷バランスのもよるが概ね例年並みの流れ。
	宮崎県	秋冬キクから夏秋ギクへの切り替わり時期から上中旬は多くないものの下旬から出荷量が安定する見込み。一部病害虫の発生見受けられるものの全体的には生育順調。	
	沖縄県	概ね生育は順調に推移している。配色割合は黄色系が主体で配色割合は黄：白＝70：30となっている。	

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
小菊	沖縄県	秋小ギクの出荷は中旬まで続き、一部で夏秋ギクの出荷がある。配色割合は黄：白：赤＝32：23：45となっている。	<p>現状 沖縄中心。入荷も少なく、単価は低い安定した流れ</p> <p>見通し</p> <p>大田花き 中下旬より静岡、茨城などが徐々に出荷となるが基本的には沖縄産が入荷の中心となる見込み。需要に関しては上旬GW中のお墓参り需要が期待できる。それ以降については大きな需要は無いものの、入荷量次第では引き合いは変動する模様。</p> <p>FAJ 連休でお墓参り需要。やや活発になるものの沖縄終盤。奈良・関東などに産地徐々に移行</p> <p>東日本板橋花き 4月同様、特に大きな需要なく動き鈍い</p> <p>世田谷花き 茨城県産始まる。入荷は多くないが、引き合いはある。</p> <p>第一花き 業務需要主体の流れ、特に大きな需要も無い時期で入荷バランスによるところが大きい。</p>
バラ	青森県	近年の燃料費高騰の影響から、年々作付面積は減少している。冬期の大雪と断続的な降雪の影響もあり、整枝作業が遅れて推移しており、一部地域では5月のピークは母の日を過ぎる見込み。	<p>現状 重油高等の為、1月に温度を掛けられなかった生産者、高冷地の生産者の出荷が増。需要少なく、低調な取引続く。</p> <p>見通し</p>
	群馬県	生育は順調で目立った病害虫もなく品質は良好。降雪の影響により当面の出荷量は減少するが、ハウスの修繕・再建ができ次第、出荷量は回復する見込み。	大田花き 母の日商戦の為、上旬はピンク系、赤系中心に引き合いが強くなる見込み。母の日過ぎから高冷地など本格的に出荷が始まり、西南暖地の下位等級などの価格が採算ラインを割れ、出荷調整する可能性あり。
	茨城県	・品質は平年並みの見込み。 ・一部の産地の出荷は平年よりやや早い見込み。	FAJ 連休のブライダルと母の日需要で前半取引活発の予感 東日本板橋花き 母の日、ブライダル需要中心の流れの見込み入荷は、これから出荷始まる産地もあり。増加傾向
	山梨県	多少病害が出ているが生育は順調である。	世田谷花き 連休中のブライダル需要に期待。母の日は若干注文少ないが、昨年並みの見込み。
	静岡県	入荷は例年並で生育についても順調である。母の日までは大きな増減もなく横ばいで推移する見込み。	第一花き 母の日・ブライダル需要中心の流れで概ね昨年並みの流れ。
	愛知県	・冬期に十分に加温できなかった生産者もあり、4月に入って気温の上昇とともに出荷量が増加傾向となっている。 ・4月中に出荷量のピークを迎える産地が多いため、母の日前の出荷量はやや少なくなることが予想される。 ・母の日明けに改植する生産者もいるが、5月全体では昨年並みを見込む。	
	大分県	各地とも増加中。出荷の増加に伴って多様な品種が始めている。上位等階級中心、当面は出荷量横ばいの見込み。	

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	福島県	<ul style="list-style-type: none"> ・加温促成栽培は、燃油高騰で開花温度を控えたことや、2月からの夜温の低さが続いたことが原因で出荷開始が5月10日からの見込み(平年では4月20日から出荷)。 ・無加温半促成栽培は6月中旬からの出荷見込み。引き続き7月下旬から季咲き作型の出荷となる。平年並み 	<div data-bbox="837 611 933 656" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現状</div> <p data-bbox="949 611 1492 656">九州(熊本)中心の入荷も輸入や高知・関東など。落ち着いた取引が続く。</p> <div data-bbox="837 723 933 768" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> <p data-bbox="821 790 1492 880">大田花き 暖地物が数量纏まりだし中間産地の茨城、千葉の品物も増えてくる見込み。母の日以降は数量増えだし出荷量は纏まってくる見込み。</p> <p data-bbox="821 891 1492 947">FAJ 暖地最盛期で九州四国と関東東海からまとまった出荷量が予想される。さらに東北からの入荷あり。</p> <p data-bbox="821 969 1492 992">東日本板橋花き 母の日まで強保合。それ以降、弱保合。</p> <p data-bbox="821 1037 1492 1059">世田谷花き 長野など高冷地からの入荷も増える。</p> <p data-bbox="821 1115 1492 1193">第一花き 入荷数・品種も増加し品質も向上、母の日・プライダル需要中心の流れで季節商材でも有り概ね昨年並みの流れ。</p>
	茨城県	<ul style="list-style-type: none"> JAほこた ・一部低温の影響で遅れのほか、M品の数が増える見込み。 ・一部の産地でやや遅れ気味、下旬より出荷の見込み。 	
	千葉県	低温による生育遅れの影響で4月の出荷量は少なかったが、5月は平年並に戻る見込み。品質は良好。	
		低温の影響で生育は遅れ気味だが品質は良好。	
	長野県	4月下旬より出荷はスタート。5月下旬から6月にかけて出荷産地が増えてくる。雪の被害からスタートの出荷量は少なめを見込むが、以後は例年並みを見込む。	
	静岡県	3月需要が過ぎ、現状の入荷は少なめで全体的に落ち着いている。生育は順調で品質も良い。今後は4月下旬から増加する見込み。	
	福岡県	3月より春出し出荷が開始されており、3月実績も前年よりも多く安定した出荷となっている。	
		4月に入り産地数も揃い出荷量は増加傾向となり、4月下旬～6月まで安定した出荷となる見込み。	
	熊本県	生育順調。4月下旬頃から母の日に向けて数量増加する。5月は前年並の出荷を見込む。品質も良好で虫の被害も見られない。一方で降雨後に花シミが見られる産地もあるため、温度管理で対策を行う。	
	大分県	4月下旬より各地春品種へ切り替わり増加に向かうが、4月中は出始めで数はそろわず、5月上旬より数量纏まる見込み。	
宮崎県	1番花終盤から上中旬は多くないものの、2番花が始まってくることから5月下旬にむけて出荷量が増える見込み。生育は概ね順調。		

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
アルストロメリア	青森県	津軽地区については、平年に比べ降雪が少なかったことに加えて、3月の好天から順調な生育となっている。	<div data-bbox="837 293 938 338" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現状</div> 愛知、長野、茨城中心に数量が増加し、4月中旬にピークを迎えた。小売、量販店の需要はあるものの低調な相場展開となった。
	山形県	<ul style="list-style-type: none"> ・生育、開花は、気温の上昇や日射量の増加にともない、概ね順調に推移している。 ・5月の出荷量は、作付面積が前年よりやや少なくなっていることから前年の95%程度と見込まれる。 ・病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好である。 ・燃油高騰に対応するため、従前の石油暖房機からの暖房から、ヒートポンプと石油暖房機を利用したハイブリッド暖房方式の導入が始まっている。 	<div data-bbox="837 360 938 405" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> 大田花き 各産地で改植が始まり徐々に減少してくるが、山形、北海道等の高冷地の数量はしっかりとある見込み。 FAJ 出荷最盛期となり、まとまった入荷が予想される。 東日本板橋花き 愛知、青森中心の入荷。業務中心の動き 世田谷花き 業務・量販中心の動き、量は減少傾向。 第一花き 業務需要中心の中、概ね例年並み
	長野県	5月上旬まで出荷ピークが続く。母の日明けからはそれぞれ改植が始まってくることから数量は減少してくる。	
スターチス	山梨県	雪害により、面積及び出荷数量の減少。4月3日より出荷開始。	<div data-bbox="837 929 938 974" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現状</div> 気温上昇に伴い入荷量は増加傾向での推移となり、販売面では大きな需要も無く厳しい販売展開となった。下旬にむけては数量減少したことにより若干の相場回復となった。
	長野県	早出しの産地で出荷が始まって来ている。2月の大雪で一部施設で被害を受けており、例年より少なめの出荷となっている。6月に向かって増加してくる。	<div data-bbox="837 1041 938 1086" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> 大田花き 4月同様に大きな需要は無く落ち着いた取引となる見込み。高冷地は長野、群馬が徐々に出荷開始となる。 FAJ 連休仏花需要でやや回復も、全体の出荷量多く、引き続き落ち着いた相場見込み。
			東日本板橋花き 高冷地物は、雪の影響により遅れぎみ。 世田谷花き 和歌山県産に加え、長野・北海道も入荷始まる。 第一花き 需要も減少し厳しい流れ。

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ユリ	埼玉県	5月出荷のユリは2月上旬頃に定植したもので、2月14日の降雪によりハウスの倒壊等が直接影響し出荷量は前年の4割程度を見込む。	<div data-bbox="831 286 935 331" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現状</div> <p>(オリエントル) 上旬にて3月出し切れなかった、高知産、九州産等数量纏り厳しい相場展開だったが、中旬以降、数量落ち着き中値にて推移。</p> <p>(アジアテック) 埼玉、群馬県の周年産地において2月の豪雪でハウス倒壊があり、その影響で出荷数量は前年比の約50%となった。栃木、岐阜、宮崎などで継続出荷があったものの、品目全体では前年比で6割～7割の入荷量となった。販売面ではやや苦戦した状況。</p> <div data-bbox="831 506 935 551" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見通し</div> <p>大田花き (オリエントル) 高知県よりカサブランカ中心に、白系、ピンク系と品種のバリエーション豊富な入荷見込み。新潟県産は下越地区より白系、ピンク系が入荷が見込まれる。宮崎はカサブランカに加え、白系、ピンク系が入荷が見込まれる。</p> <p>(アジアテック) 引き続き埼玉県産に関しては降雪によるハウス倒壊被害の影響により出荷量は5割～6割程度となる見込み。群馬県産に関しては徐々に回復が見込まれる。山形、新潟など高冷地産の入荷も順次見込まれる。母の日のスポット納品や大手量販店様からのスポット納品などが見込まれる。</p> <p>FAJ 新潟平場出荷開始。高知も継続出荷で南北混在した入荷が見込まれる。</p> <p>東日本板橋花き 母の日需要に向け、各産地入荷増。引き合い強まる。</p> <p>世田谷花き 昨年以上に入荷は多そう。母の日など需要はあるが、厳しい販売になる。</p> <p>第一花き HB系、母の日・業務需要中心の流れ、入荷も増加傾向となり覆ね例年並みの流れ。AT系、入荷状況によるが例年並みの流れ。</p>